広報ほうじょう

町の人口

(昭和59年4月30日現在)

		前月比較
男	3, 981	(+9)
女	4, 312	(+2)
計	8, 293	(+11)
世帯数	2, 688	(+4)

定禅寺の藤

5月初旬が見ごろ

―花見客でにぎわった連休―

5月のこよみ

1日　メーデー
2日　八十八夜
3日　憲法記念日
5日　こどもの日
児童福祉週間
立夏
10日　愛鳥週間
13日　母の日

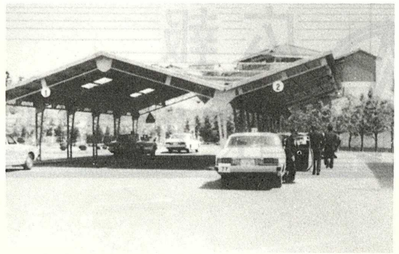
樹令約500年といわれている定禅寺の藤は、毎年1.3～1.4メートルの見事な紫の花をつけます。

昭和37年、福岡県文化財として指定され以来、シーズン(5月初旬)となると、花見客が近隣から、又遠方からつめかけにぎわいます。

今年は寒かったせいか、少し開花が遅れましたが、見事な藤の花が咲き、連休には花の下で弁当を開く家族づれ、あるいは団体客でにぎわいました。

指導員が安全運転を指導

下田川四ケ町合同による交通安全教室



晴天に恵まれた四月八日（日曜日）午前十時から、下田川四ケ町（赤池町、金田町、方城町、糸田町）合同による交通安全教室が、初めて糸田町の田川自動車学校で開かれました。

自動車学校の検定指導員と一緒に、コースを廻り、自分の運転をチェックしてもらい、今後の安全運転の指針とするためのものです。

四ケ町から約四〇名が参加、まず田川署の交通課長から「最近の交通事故概況」について話を聞き映画「正しい高速道路の走り方」を見学、最後にコースを走行しました。

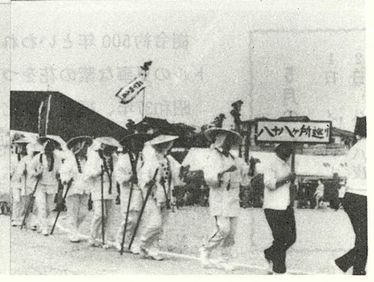
毎日車は運転しているのですが学校のコースでの運転は、何年ぶりか、いや数十年ぶりか、ずいぶん自分の運転のくせが出ていたようです。

「カーブでのスピードの出し過ぎ、ハンドルさばきが悪い（逆ハンドル）、中央線に寄り過ぎ、一時停止のとき左右の安全確認が不十分」など、指導員の先生からそれぞれ忠告を受けました。

各町から二人ずつ優良運転者が選ばれましたが、方城町から選ばれたのは次のとおりです。

（敬称略）

村田あけみ　中山光信



婦人会運動会開催

第二十七回婦人会運動会が、四月二十二日午前八時三〇分から、町民グランドで開催されました。

この運動会は婦人の体育の向上と、親ぼくを図ることを目的として始められたものです。

グランドには、二十一支部が勢ぞろい、開会式の後競技が開始されました。

競技は対抗競技ではなく、紅白に分れて行いましたので、選手に対する重圧はなく、皆んなのびのびと競技しました。

又、仮装行列では、それぞれ趣向をこらした素晴しいものばかりでした。

午前中のしめくくりの炭坑節しの踊りでは、皆んな輪になり手を振る姿は、方城町婦人会の「和」を感じさせられました。

第十四回町民ソフトボール大会

野添常会が優勝

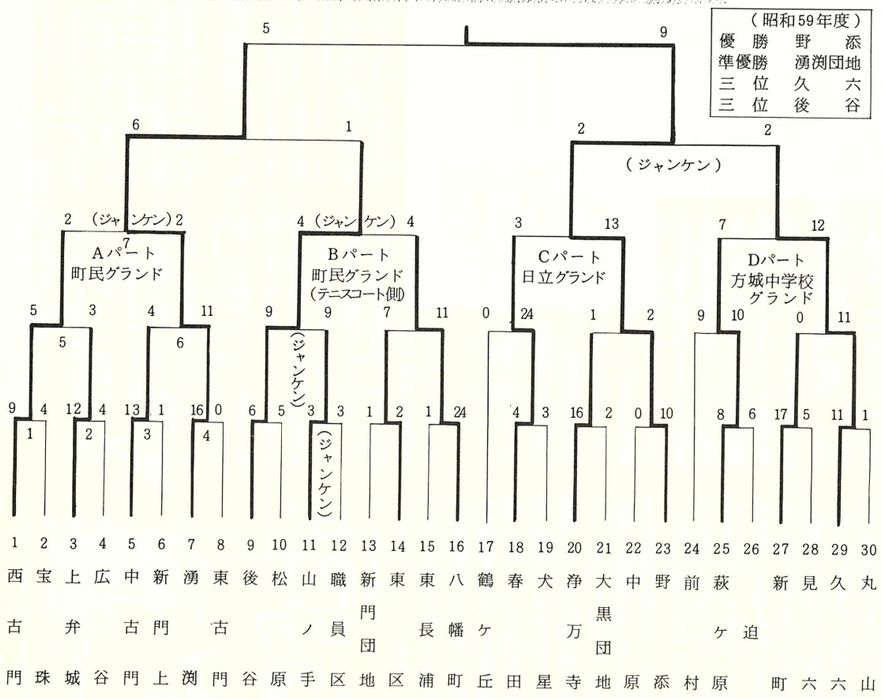
どんよりと曇った四月十五日（日曜日）第十四回町民ソフトボール大会が行われましたが、野添常会が見事優勝旗を手中に収めました。

午前八時開会式のあと、参加した二十チームの選手たちは、それぞれの会場（町民グランド、方城中学校グランド、九州日立マクセルグランド）で熱戦を展開しました。この日のために数週間前から、夜おそくまで練習にはげんだ選手たち、その選手たちと一体となったつもりで「激」をとばし、応援する応援団の人々……。」

試合は次々と消化されていきましたが、実力伯中のため七回を終って同点となるケースが多く見られました。（同点の場合は時間の関係上ジャンケンで決定する）。

優勝するには実力プラス運？も関係あるようです。今回はその両方ともに備えた、野添常会が優勝戦では大逆点で、湧渕団地を破り優勝しました。

第１４回町民ソフトボール大会結果表



伊方祭り
各地で山笠練り歩く

田園を渡る風が肌にこちよく感じられる五月、各地で笛や太鼓の音が空高く響きわたりました。

伊方の赤坂八幡神社と、白髪神社の神幸祭が五月五日、六月に行われ、大人や子どもたちに引かれた山笠十六台が、ワッショイ、ワッショイのかけ声も勇ましく、地区内を練り歩き、にぎわいました。

祭は豊作を祈るもので、両神社とも五日午後から神事を行いました。白髪神社では、午後三時、みこしがおくだりになり、古門地区のしし舞いが登場、山笠四台が出迎え祭りは最高潮に達しました。

このあと、各地区ごとの山笠が神社からお旅所まで、笛、太鼓、をかけ声に合わせ練り歩きました。

また、六日のみこしのお上りには約五百人の見物人が見守る中、みこしと四台の山笠が、約三時間練り歩き見物人を喜ばせました。サーヤッサーのかけ声が晴天に響き渡り、お祭りムードは町全体に波及し、初夏の訪れをつげていました。

▶ネガ提供　西田俊光氏（後谷）

老令年金の繰り上げ請求は慎重に

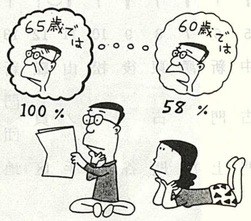
国民年金の老令年金、通算老令年金は六十五歳になって請求するのが原則ですが、六〇歳から六十四歳までの希望するときから繰り上げ請求して受給することができます。

この繰り上げ請求によって六十五歳前に年金を受給する場合は、請求する年金によって減額された年金額となります。

例えば、今年六〇歳到達者（大正十三年四月二日生）が昭和三十六年四月から全期間保険料を納めている場合、六十五歳から受給する年金額は五四八千三百円ですが六〇歳から繰り上げて請求した場合の年金額は四十二パーセント減額された三一八千円となります。

繰り上げ請求によって受給する減額された年金額は、六十五歳になっても増額されず、生涯、減額されたままの年金額となります。

繰り上げ請求した人の中には、「近所の人が受けているから」など安易な気持で請求している人が多いようですが、平均寿命が延びだれもが長生きできる現在、安易に繰り上げ請求して少ない年金額を後悔しないよう、良く考えてから請求しましょう。



ハーモニカおじさん「福智園」を訪問

まず役場であいさつの後、社会福祉協議会に立ち寄り、最後に「特別養護老人ホーム福智園」へ到着、入園しているお年寄たちの前で、自慢のハーモニカを約十五曲演奏、ヤンヤの拍手をあびました。

五月二日、長崎県から通称ハーモニカおじさん、福島秀吉さん（六十二才）が当町を訪れました。

福島さんは二十一年五月に復員すでに両親は長崎市に投下された原子爆弾で死亡、親孝行が出来ずに残念に思っていたところ、抑留時代に覚えたハーモニカで全国の各老人ホームを回り、お年寄りを元気づけるとともに、親孝行のまねごとをしようとハーモニカ訪問を始め、今年で十二年になります。

福智園には今回が三回めの訪問で、実に九年ぶりです。

レパートリーの中には、童謡、演歌、軍歌など、なつかしいものばかりです。

演奏しながらお年寄りには唄ってもらい、皆んなひとつになって楽しみました。唄いながら青春時代を想い出して感激している人もたくさんいるようでした。

また、ハーモニカ演奏しながら一人〳〵に握手を求め、親ぼくをいっそう深めました。

おめでとう
書道学生八段位合格

昨年十二月、福岡市で学生書道八段位の試験が実施されました。九州各県から六〇人が受験、当町から受験した、池本雅和さん（中学三年　後谷）、田中三津子さん（中学一年　春田）が見事合格しました。試験は午前十時から午後三時まで行われ、実技の方は条幅紙に行書、半紙に楷書を、自己書法で揮毫する方法で実施、学科は、書に関する一般知識、歴史、作文の試験が行われました。

作文　田中三津子

私は、弁城小学校二年の十月から、地域改善事業の一環として、春田子ども会習字教室が始まり、初めて筆を握ってから六年間、八段位合格を目標に頑張って来ました。しかし、本当は習字に行くのが嫌いで、父母に尻をたゝかれ、いやいや通いました。級は上がらず面白くなかったのですが、今は亡き弁城小学校の泉先生や、習字教室から毎年行く、楽しい弁城と伊方の交流キャンプ等に励まされて、現在に至ったのです。

受験の日は、上手な人ばかりの集まりで緊張しましたが、私は今まで習ったことをこの一日にかけて頑張りました。自信が無かったので、合格通知が来て、八段位認定の賞状を手にしたときは、今までの苦労はふき飛び、書を習う機会を与えてくださった教育委員会と、一生懸命教えてくださった橋本先生に、感謝の気持でいっぱいです。この喜びを忘れず、何事も努力、練習の積み重ねが大事という事を心に置いて、今まで教えてもらったものを、今度は私が後輩達に教えてあげながら、先生になる夢を抱いて、これからも頑張っていきたいと思っています。

方城中学校PTA
全国表彰受賞

昨年本校PTA（父母教師会長池永清隆さん）はPTA創立35周年記念式典で全国三万四千の小・中学校より選ばれて日本PTA会長賞を受ける三十四PTAの一つとなりました。これも本校PTA会員の尽力と町民あげての御支援の賜と今日まで苦労を共にした会員の方々と一緒に大きな喜びにひたったところであります。ここ数年方城様PTAは大きな試練を受けました。全国的な非行問題の渦中に方城中学もありました。落ちついて生徒が勉強できるように巡回にもとりくみました。本会の活動として実践したことはPTAの各専門委員会の活動を常に学校の動きに合せて活発化していくということでした。学校側も現状や問題を各委員会や地区懇談会で明らかにして父母の理解を深めました。

『自分の子供も、他家の子供もみな方城中の生徒として目をかけよう』が合言葉です。役員は職員室で先生方と、廊下では生徒と声を交わしました。生徒作文をのせた総務部の新聞発行、他校PTAとの交流、厚生部の制服指定によるガクラン追放。今では全校生徒が校章入りの制服になっています。父母教師生徒が一体となった、バレー・ソフト大会、しつけや性教育の成人教育講演会、深夜におよぶ教師・教護委員の校外補導。こうした学校の内と外との活動で鎮静化しました。父母が変われば教師が変わる。教師が変われば、子供が変わる。父母全教師一体となった愛情あるきびしい指導をすることをのぞみました。今後も青少年育成の諸団体がよりよい中学生の育成ということで連動していただく事を希望すると共に、中学校の一そうの飛躍を期して本校PTAも努力をつづけたいと思います。よろしく御支援下さい。

人権擁護の日（六月一日）

日本が戦後新しく生まれ変わったとき何よりも国民の基本的人権擁護と人権思想の普及高揚が国家の責務として国民の間から呼ばれ、基本的人権を基調とし日本国憲法が制定されました。

こうした背景の下に昭和二十四年六月一日に人権擁護委員法が施行され、国民の基本的人権を擁護し見守るいわば民間人による人権の番人の機関が誕生したのです。これが人権擁護委員による人権擁護委員の制度の始まりです。

お互いの人権を尊重し差別のない明るい町づくりを

お知らせ

指定金融機関について

昭和五十八年十二月の定例議会において、出納事務の効率的運営と安全を図る目的をもって、指定金融機関の議決をいただきました。四月一日から方城町に属する公金の収納、又は支払いの事務一切を福岡銀行より派出された行員によって取り扱うことになりました。

なお、収納代理金融機関として田川農協（方城支所）西日本相互銀行（金田支店）、田川信用金庫（金田支店）を指定しておりますので、税金その他、令書によって納付される金銭については、以上の金融機関で現金、又は預金の振替で納付することができます。

田川商工会議所 簿記講座開催について

―商業簿記基礎コース―

この講座は初心者を対象に記帳から決算までを学ぶ商業簿記の基礎コースです。

〔日　時〕昭和五十九年七月二十三日（予定）～八月末日までの二十日間、午後六時～八時（期間中土、日、盆は休日とします）

〔場　所〕西日本計理専門学校（田川市新町）

〔受講料〕七、〇〇〇円（一名につき）

〔申込み〕

申込み、その他詳細については田川商工会議所（田川市大黒町三―十一　電話0947②4315）へ、七月二〇日までにお申込みください。

電話で聴ける求人案内について

田川公共職業安定所～0947(4)3666、(4)3667

飯塚公共職業安定所～0948(22)4149

小倉公共職業安定所～093(581)4149

八幡公共職業安定所～093(662)5549（男）(662)5566（女）

田川石炭資料館について

田川市石炭資料館は、筑豊地方の基幹産業として、私たちの生活をささえてきた石炭産業を、後世に語りつぐため、昨年三月一日、国鉄田川伊田駅裏側の旧三井田川伊田坑跡に、開館致しました。

炭坑に関するいろいろな資料をはじめ、郷土の歴史、民俗、文化などの資料もあわせて、展示しています。

ありし日の炭鉱の姿が皆さんの脳裏によみがえるものと思います。

。休館日～毎週月曜日、国民の祝日の翌日

。入館料～大人二〇〇円、高校生一〇〇円（団体二〇人以上）

大人一五〇円、高校生七〇円、小・中学生三〇円

警察活動にご協力を

―田川警察署―

日本は世界一安全な国として、治安の良さは、むしろ海外で認められています。しかし、最近はその状態が崩れてきつつあります。これを防ぐため、警察は努力していますが事件の解決には、皆さんのご協力が大切です。皆さんが見たり聞いたりしたことについて、通報をお願い致します。

※事件の発生を知った時は

すぐ一一〇番を!!

一一〇番が早い程、犯人の検挙率も高くなります。

※被害にあったときは、必ず届け出を!!

※「聞き込み」にご協力を!!

事件が発生しますと、刑事が聞き込みなどでお伺いします。そのさいには、ぜひとも積極的なご協力をお願い致します。

自衛隊の募集について

陸上、海上要員の受付をしています。

一、第一次　五、六月採用人員（筑豊管内）陸上六名、海上三名、合格順に逐次採用します。

二、受験資格

満十八才～二十五才未満の男子

三、試験期日

各志願者ごとに指定する日

四、試験科目

国語、数学、社会及び作文等

五、試験場及び問い合わせ先

福岡地方連絡部、飯塚募集事務所　電話0948(22)4847

住所　飯塚市大字横田820

香典返し

ありがとうございました。次のかたがたから方城町長寿会に高額な香典返しを受けましたので、長寿会のため最も有意義に活用させていただきます。

方城町長寿会連合会々長　永末義雄

白石　宏事様（迫）

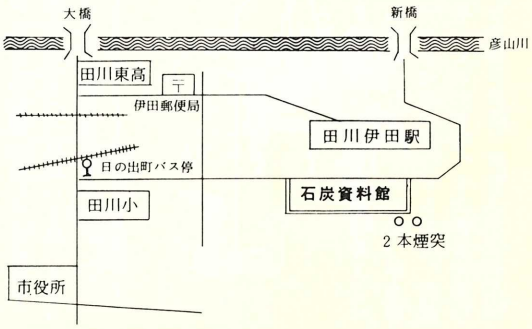
石谷　猛様（野添）

稲富ミツ子様（宝珠）

永末　敏征様（奥ケ畑）

小田チエ子様（後谷）

高若トモエ様（町外）



広報ほうじょう（140号）
昭和五十九年五月十日発行
発行　方城町役場
編集　総務課
印刷　協和印刷